

元治元年十二月九日より元治元年十二月十二日まで

P8311207 right

席に付役の■【文字判読不可】■第一時過ぎ相済廻散、寒見舞として山本(長)来り、美菓一折を贈らる旨、細谷(秀)来り、小笠原(州)逢由申聞旨、吉川(圭)来り、一昨借用の義、頼遣せし跡目願書類貸呉候旨、菊池へ樽酒の代、為持遣す、保三来り、寒見舞として早冊子二套贈らる、□□同断来る、昆布巻一折持参、酒肴を勧む、痴雲老より同断、使して鴨二羽を贈らる
十日丑 晴

吉川(圭)来り面す、同人方より借用の書類、永持へ為持遣す、出 殿、藤山(陽)病態吹聴旁□□見舞として菓子一折持参、五郎次来り前文書類直に渡せし旨、内山より転進賀赤飯贈り越旨
桑名へ寒見舞として昨来の鴨一羽を遣せし旨、三輪より未亡人死去の訃ありし旨
十一日寅 晴

内山へ寒見舞として一昨到来の鴨一羽を遣す、中田(英)初て来り面す(凡)、鈴木(増)来り面□□

P8311207 left

某の義頼聞る、松盛亭稽古に来る、橋本(□)初て来り面す(中等)、鈴木来る不面、出 殿、箱館小出(左)へ過日の酬小品を添返書差立方、箱館方(杉屋□)へ頼む、須崎伯母 並正覚同行
寒見舞として来り、銘々小品持参旨、宿岡(彦)同断来り、同小品持参旨、御先手同心川崎定太郎なるもの鶏卵一(小)管持参せし旨に付、為持返す積り、永持旧婢かねゝ母来り、加州墨落雁持参酬品遣せし旨、藤山稽古に来る

十二日卯 晴

宅調、辻番廻り場内□物晒日数■により御目付問合して□転使者に遣す、五郎次来り鉦児三才賀

として帯地を贈らる、柳亭稽古に来る、牛込並黄窪へ寒見舞に行き何れも携品あり黄窪
ては酒肴を亨せられ、牛込よりは鯉一尾を贈らる、坂町並松盛亭へ寒見舞品を贈り遣す、細谷(秀)寒

見舞として来り■■■を持参の旨、三輪へ□使として□輔を遣し香資(*)を投す、右序を以

*1:香資、香典と同じ

()内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。